

株式会社雄和振興公社の
経営状況を説明する書類

目 次

1. 総括事項 -----
2. 平成20年度事業実績と決算の状況 -----
 - (1) 事業実績 -----
 - (2) 決算の状況 -----
3. 平成21年度事業計画の概要 -----
4. 平成21年度収支予算の概要 -----

経 営 状 況 説 明 書

1. 総 括 事 項

- | | |
|-----------|---|
| (1) 名 称 | 株式会社雄和振興公社 |
| (2) 設立年月日 | 平成8年2月23日 |
| (3) 資 本 金 | 金30,000,000円 |
| (4) 市の出資額 | 金30,000,000円 |
| (5) 役員の名 | 代表取締役社長 伊 藤 憲 一
代表取締役専務 奥 田 正 樹
取 締 役 高 橋 善 健
取 締 役 伊 藤 忠 夫
取 締 役 吉 田 一 彦
監 査 役 牧 野 正 則
監 査 役 星 川 豊 一 |

(平成21年4月1日現在)

(6) 事業の概要

株式会社雄和振興公社は、旧雄和町から公営施設の運営委託を受けることを主たる事業目的として平成8年2月23日に設立されました。平成16年10月26日に、市町合併に伴い社名変更を行い、さらに、平成17年1月11日の新たな秋田市のスタートと同時に、旧雄和町の公営施設の名称変更を行いました。

これまでの経緯として、平成8年4月、秋田県より県立中央公園の県営フィールドアスレチックセンターの管理を受託し、続いて平成8年7月1日より現在の秋田市雄和サイクリングターミナル、秋田市雄和ふるさと温泉「ユアシス」、県営トレーニングセンター「宿泊棟・食堂」、秋田市雄和里の家の管理運営委託と、秋田市雄和学校給食センター調理業務（平成18年度末契約終了）の管理委託を受け事業活動を本格的にスタートさせました。

平成9年4月には現在の秋田市雄和観光交流館「Villa・フローラ」、同年7月には秋田県より県営ファミリーキャンプ場の管理を受託し、さらに平成10年4月からは秋田市雄和観光農産物加工所「味工房」と秋田市雄和コテージを運営委託施設に加え、同年7月からは、公立保育所（新波・川添・雄和中央）の調理業務（平成19年度末契約終了）の管理委託を受け当期に至っております。

平成17年12月26日秋田市より指定を受けた秋田市雄和地区観光施設（6施設）に係る指定管理者期間（平成18年4月1日から平成21年3月31日まで）の最終年度となります。

なお、当社は定款第2条の規定に基づき、次の事業を行うことができます。

- (1) スポーツ施設及び体育館の経営および受託経営
- (2) 温泉利用による保養施設および宿泊施設の経営および受託経営
- (3) 食堂・レストランの経営および受託経営
- (4) 土産品店の経営および受託経営
- (5) 観光に関する調査研究および各種イベントの企画・制作・実施
- (6) 給食業務の請負
- (7) 駐車場の管理運営
- (8) 学生寮の経営および受託経営
- (9) 一般廃棄物および産業廃棄物の収集業
- (10) 農産物の加工、販売およびその研究開発
- (11) 劇場、興行場の経営および受託経営
- (12) キャンプ場、モトクロス競技場等の経営および受託経営
- (13) 前各号に関連する一切の業務

2. 平成20年度事業実績と決算の状況

(1) 事業実績

当期は、秋田市より指定管理者の指定を受けて3年目の事業となりました。秋田市雄和サイクリングターミナル・秋田市雄和観光交流館「Villa・フローラ」・秋田市雄和里の家・秋田市雄和観光農産加工所・秋田市雄和ふるさと温泉「ユアシス」・秋田市雄和コテージ・県営トレーニングセンターの経営と、県営フィールドアスレチックセンター・ファミリーキャンプ場の受託経営の事業に取り組みました。

営業収入においては、秋田市雄和観光交流館「Villa フローラ」のステーキ食べ放題や秋田市雄和ふるさと温泉「ユアシス」の風呂の日イベント、自然観察ツアー、湯治プランなどの事業の取り組みに加え、秋田市雄和サイクリングターミナルや県営トレーニングセンターにおいて全国植樹祭による宿泊等の特需などありましたが、前年度の秋田わか杉国体(第62回国民体育大会)や秋田わか杉大会(第7回全国障害者スポーツ大会)の収入実績をカバーすることが出来ずに、前年を下回る状況で推移しました。

全体では、事業収入部門で237,262名の集客による290,597千円、受託収入部門で38,324千円を計上し、当期の営業収入は合計328,921千円(前年対比12.7%減)となりました。

一方、損益面では、灯油価格の値下げにより燃料費は落ち着きを取り戻しましたが、原材料費の値上げが続き予断を許さない状況で終始しました。このような中で、業務の多重化を推進し人件費の削減や経費の節減に努めましたが、減収による売上総利益減を吸収することが出来ず1,425千円の営業損失となりました。温泉分湯負担金収入等による営業外収益704千円を計上しましたが、当期損失として958千円となりました。

各施設別の概要は以下のとおりです。

【秋田市雄和サイクリングターミナル】

施設利用者数は46,524人で前年比91.7%、4,208人の減少となりました。売上高は72,460千円で、前年比86.8%、11,061千円の減収となりました。誘客を図るために企画した各種イベント(各種宿泊プラン・宴会プラン・サイクリングフェスティバル・グラウンドゴルフ交流大会等)の実施などに加え、全国植樹祭の特需はありましたが、前年度の秋田わか杉国体・秋田わか杉大会の収入実績をカバーできず、前年を大幅に下回る状況で推移しました。

【秋田市雄和ふるさと温泉「ユアシス」】

施設利用者数は 128,427 人で前年比 96.1%、5,227 人の減少となり売上高は 91,813 千円で、前年比 97.2%、2,676 千円の減収となりました。誘客を図るため、毎月 26 日の風呂の日・高尾山自然観察ツアー・蛍観察会・大正寺おけさツアーや、新春 13 周年記念などのイベント等を企画実施しました。入浴利用者数の減少傾向に歯止めがかからず厳しい状況で推移しましたが、灯油価格の値下げ効果により若干の収支改善となりました。また、隣接するコテージの施設利用者数は 1,284 人で前年比 99.1%、11 人の利用減で売上高は 3,012 千円で 81 千円の減収となりました。

【秋田市雄和里の家】

施設利用者数は 9,138 人で前年比 85.5%、1,544 人の減少となり売上高は 12,263 千円で、前年比 88.6%、1,573 千円の減収となりました。誘客を図るため、華の里の春・秋祭りのイベント参加に加え、山菜フェア・抹茶フェアや菊花展示会などを実施しました。宴会受注は微増ながら食堂利用人数の減少により減収となりましたが、経費削減により収支改善となりました。

【秋田市雄和観光交流館「Villa・フローラ」】

施設利用者数は 18,791 人で前年比 77.5%、5,461 人の減少となり売上高は 35,953 千円で、前年比 82.2%、7,787 千円の減収となりました。春、秋の華の里イベントへの参加、ステーキ食べ放題、ビアフェスティバル、ガーデンウェディングなど様々な企画を実施し誘客を図りましたが、レストラン・宴集会ともに減収となりました。経費削減により収支改善をしたものの収入面において厳しい状況で推移しました。

【秋田市雄和観光農産加工所「味工房」】

店頭利用者数は 8,093 人で前年比 100.7%、58 人の増加となりましたが、売上高は 15,958 千円で、前年比 92.6%、1,273 千円の減収となりました。各種イベントへの出店に取り組みましたが、既存取引先の受注減をカバーすることができず減収となりました。小数体制による人件費の削減により大幅な収支改善となりました。

【県営トレーニングセンター】

施設利用者数は 23,888 人で前年比 88.4%、3,127 人の減少となり売上高は 58,432 千円で、前年比 86.2%、9,358 千円の減収となりました。全国植樹祭の特需はありましたが、前年度の秋田わか杉国体・秋田わか杉大会の収入実績をカバーできず、前年を大幅に下回る状況で推移しました。

【管理受託事業の状況】

- ①秋田市雄和地区観光施設運営管理委託業務
- ②県営フィールドアスレチック・ファミリーキャンプ場管理委託業務